

栄養療法をご検討中のすべての医師の皆様へお勧めします

ベーシックセミナー

金沢開催

医師限定
M.D.コース

オーソモレキュラー栄養療法の基礎を学びます

※医療機関においてコンタクトレンズ等の医療機器やサプリメント等の食品の販売を行うことは、当該販売が、患者のために、療養の向上を目的として行われるものである限り、以前から可能ですので、適切に扱われますよう、お願いいたします。平成26年8月28日 厚生労働省医政局総務課 到達

日時: 2017年 **11月19日** (日)
9時~15時 (受付開始8時30分)

会場: TKP 金沢新幹線口会議室 4F

すべての診療科で可能な 栄養アプローチのスタートアップ (オーソモレキュラー栄養療法)

実際の治療プロセスをご紹介します

オーソモレキュラー栄養療法は、血液検査データの生化学的な解釈から始まります。通常の臨床検査の範囲で、患者さんの栄養状態や病態の正確な把握が可能になります。さらに、摂取した栄養素の効果判定や、今後の病態予測を可能とするほか、投薬のみでは対処の困難な原因不明の病態に対してのアプローチも、幅広い診療領域における病態改善症例をご紹介します。まさに、メディカルサプリメント新時代をリードする理論です。

オーソモレキュラー栄養療法症例

＜頭痛とめまい、疲労感などで脳外科などを受診。全ての検査で異常なしと言われていた。栄養解析の検査で見つかった栄養バランスの乱れを補正したところ検査データが改善し、多くの症状が消失し便通や肌の改善も得られた。＞

(症例出典: 新宿溝口クリニック)

37歳 男性

検査項目	初回	9ヶ月後
体重	126	99
血圧	185/115	145/85
中性脂肪	674	70
γGTP	85	25
HbA1c	6.4	4.6

この期間の栄養素

- ・ビタミンB群
- ・ビタミンC
- ・ビタミンE
- ・不飽和脂肪酸
- ・タンパク質 など

講師



飯塚 浩 先生

メディカルストレスケア飯塚クリニック 院長
精神科専門医、医学博士、MSS講師

鳥取大学医学部卒業後、難治性うつ病の治療と臨床研究に従事。向精神薬の用い方の洗練だけでなく、漢方や心理療法などにも傾注する。鳥取大学医学部病院心理療法室主任・精神薬理班班長・外来医長などを経て、平成13年4月メディカルストレスケア飯塚クリニック(米子市)を開院。平成23年より分子整合栄養医学を取り入れ、疾病の改善と安定、向精神薬を用いない改善例の増加などの成果をあげている。

講義内容

◆ オーソモレキュラー栄養療法とは

◆ 鉄代謝の評価

~RBC、Hb、Hctでは何もわからない

◆ タンパク質代謝を評価する

~AST、ALTは肝機能障害を示す項目なのか?

◆ 血糖コントロールの評価

~FBSとHbA1cで何がわかるのか?

◆ コレステロールについて

~コレステロールと血清リポタン白としてのLDL

日時 2017年11月19日 (日) 9:00~15:00

会場 TKP 金沢新幹線口会議室 4F

対象 医師 (同伴であれば医療機関のスタッフの方もご参加いただけます)

定員 30名

参加費 6,000円 (税込。テキスト、昼食代含)

お申込 本誌裏に必要事項をご記入の上FAXにて、またはMSSのホームページからもお申し込みいただけます。

お申込期限 2017年11月15日 (水)